

2020年5月25日

報道関係各位

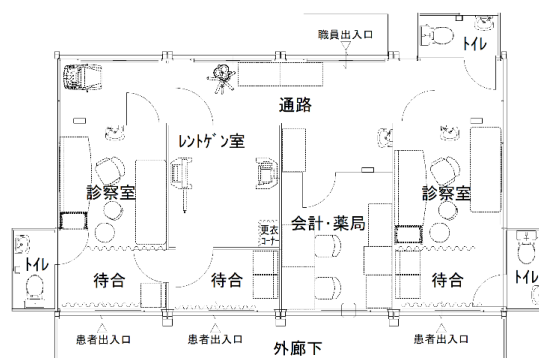
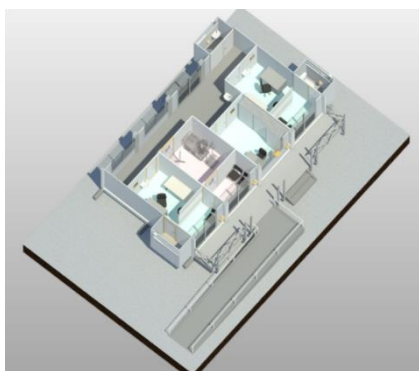
公立大学法人奈良県立医科大学
一般社団法人MB Tコンソーシアム

「MB T感染症外来ユニット」開発のお知らせ

奈良県立医科大学及びMB Tコンソーシアムは、新型コロナウイルス感染拡大の機に、防御や対応策をいくつか取り組んでまいりました。5月14日付「オゾンによる新型コロナウイルス不活化を確認」の発表もその一つですが、本日は表題の「MB T感染症外来ユニット」開発について紹介させていただきます。

本学とMB Tコンソーシアムは、MB Tコンソーシアム会員企業の大和ハウス工業株式会社、大和リース株式会社及び株式会社内藤建築事務所と共同で、「MB T感染症外来ユニット」を開発しました。

「MB T感染症外来ユニット」は、患者や医療従事者への感染防御や院内感染による医療崩壊を防ぐための狙いで、新型コロナウイルス感染が疑われる患者の診察や検査を目的に、病院の建物と離れたところに建設するプレハブ型感染症外来ユニットです。



完成イメージ

「MB T感染症外来ユニット」は、短時間で建設できるプレハブ型であり、ブロック構造で診察室や検査室などの数を自在に選べる、医師と患者の動線を分離し医師の感染予防が図れる、長期戦に備えて冷暖房装置を備えている、水洗トイレで衛生的、など多くの特徴を有しているものです。

「MB T感染症外来ユニット」を別紙の提案書にまとめておりますので、ご一読ください。

本学及びMB Tコンソーシアムは、今後とも医学・医療の専門家の持つ膨大な知識や技術を活用して産業創生を通じて社会に貢献してまいります。今後の活動にご期待ください。

【本件に関するお問い合わせ】

公立大学法人奈良県立医科大学 研究推進課：阪田 Tel：0744-22-3551（内線：2552）
一般社団法人MB Tコンソーシアム 塩山 Tel：0744-29-8853